

鉱物資源を考える.....	立見辰雄	6
鉱床田の構造と鉱床の構造を研究する 内容と方法	翟梁 裕 生 津本 一 光 鴻 岸 本 文 夫 男	18
茨城県牛久沼の生い立ちとその周辺の 自然を探る	磯部一洋	32
南部鉱石標本について.....	谷阿 正 己 谷 部 智 彦 碩 谷 口 井 義 郎	47
地質標本館だより「生きている化石」.....	尾上 亨	62
昭和60年度地質調査所の出版物.....	資料室	70
海外室だより.....	海外室	72
西舎 NISHICHA .....	酒井 彰 蟹 江 康 光	74

口 絵

地質標本館展示「生きている化石」

尾 上 亨

## 編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

### 表紙の写真

#### 中生代の海（地質標本館展示 “生きている化石”）

地質標本館第1展示室（地球の歴史）に“生きている化石”の展示コーナーがある（口絵および本文62～69頁参照）。その一部として、写真に見られるような「中生代の海」のジオラマが「古生代の海」のジオラマとならんで位置している。

中生代の海は、その時代がアンモナイトで代表されることから、アンモナイトの1種 *Dactyloceras commune* の復元模型を中心とし、左にサンゴ (Hexacorals), 右にウミユリ (*Isocrinus* sp.) の化石から復元した模型を配置して当時の海底の雰囲気を再現している。このジオラマの背景にはスクリーンが設けられており、アンモナイトと近縁関係にあり、しかも“生きている化石”の代表的な生物の一つであるオームガイの生態ムービーを見ることが出来る。

〔文 尾上 亨 写真 山本洋一〕

### 5月号予定目次

昭和61年度の地質調査所の研究 (1)

東南アジアの錫花崗岩

米国ジオサット・ワークショップに参加して

日本における海底地質研究の黎明

米国での大陸学術掘削計画 (CSDP)

ガラパゴス海嶺の海底熱水鉱床潜水区